

小金井第三小学校における
校舎の一部建替え及び長寿命化改修等
基本計画

令和4年9月
小金井市教育委員会

目次

1 背景・目的	1
2 施設の現状	2
(1)敷地の概要	2
(2)既存校舎及び体育館の概要	4
(3)既存校舎の構成諸室	5
(4)児童数・学級数の推計	6
3 施設整備方針	7
(1)児童等の安全安心の確保	7
(2)児童の学習環境・生活環境の充実	7
(3)変化への柔軟な対応	7
(4)施設の有効活用	7
(5)環境にやさしい施設づくり	7
4 施設整備計画	8
(1)建替え棟と長寿命化改修棟の想定規模	8
(2)建替え棟の配置計画と平面計画	10
(3)工事手順と工事期間	11
(4)整備スケジュール	12
5 今後の留意事項	12

1 背景・目的

本市では、昭和30年代から50年代にかけて、高度経済成長期の急激な人口増加に伴い市立小中学校の施設を集中的に整備してきました。これらの小中学校では、現在、建物の約9割が築後30年以上経過していることから、児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、学校施設の老朽化対策が重要な課題となっています。

このことから、市は令和3年3月に小金井市学校施設長寿命化計画（以下、「長寿命化計画」という。）を策定し、市立小中学校の建物の築年数や構造躯体の劣化状況等をもとに、各学校の改修計画を作成しました。この改修計画では、老朽化の状況等に加えて、児童の増加が見込まれる小学校から優先的に改修を行うこととし、小金井第三小学校（以下、「第三小学校」という。）については、市立小中学校ではじめに校舎の建替えと長寿命化改修に着手する計画としました。

しかしながら、長寿命化計画を策定した後、令和3年4月1日に「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律を一部改正する法律」が施行され、公立小学校の学級編制標準が40人から35人に段階的に引き下げられることとなりました。この学級編制標準の引き下げの影響により、第三小学校以外の一部の市立小学校でも学級数が増加し、普通教室が不足してしまう可能性が出てきました。

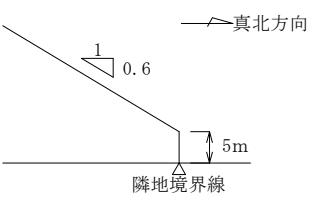
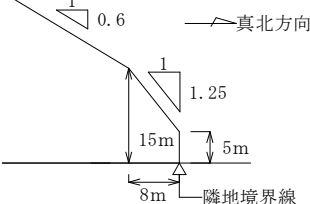
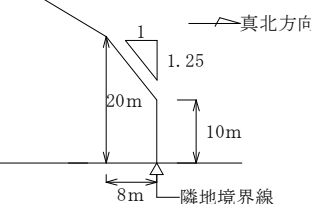
この状況を受けて、小金井市教育委員会は、第三小学校を含む普通教室が不足する恐れのある小学校の校舎の建替え等の優先順について早期に再検討することとし、令和4年1月末から第三小学校を含む小学校3校における校舎の増改築等に関する基本計画の策定に着手することとしました。

本基本計画は、第三小学校において学校施設の老朽化対策と学級数の増加への対応を適切に進めていくための校舎の一部建替え及び長寿命化改修について、整備時期の再検討も含めた基本的な考え方を示すものです。

2 施設の現状

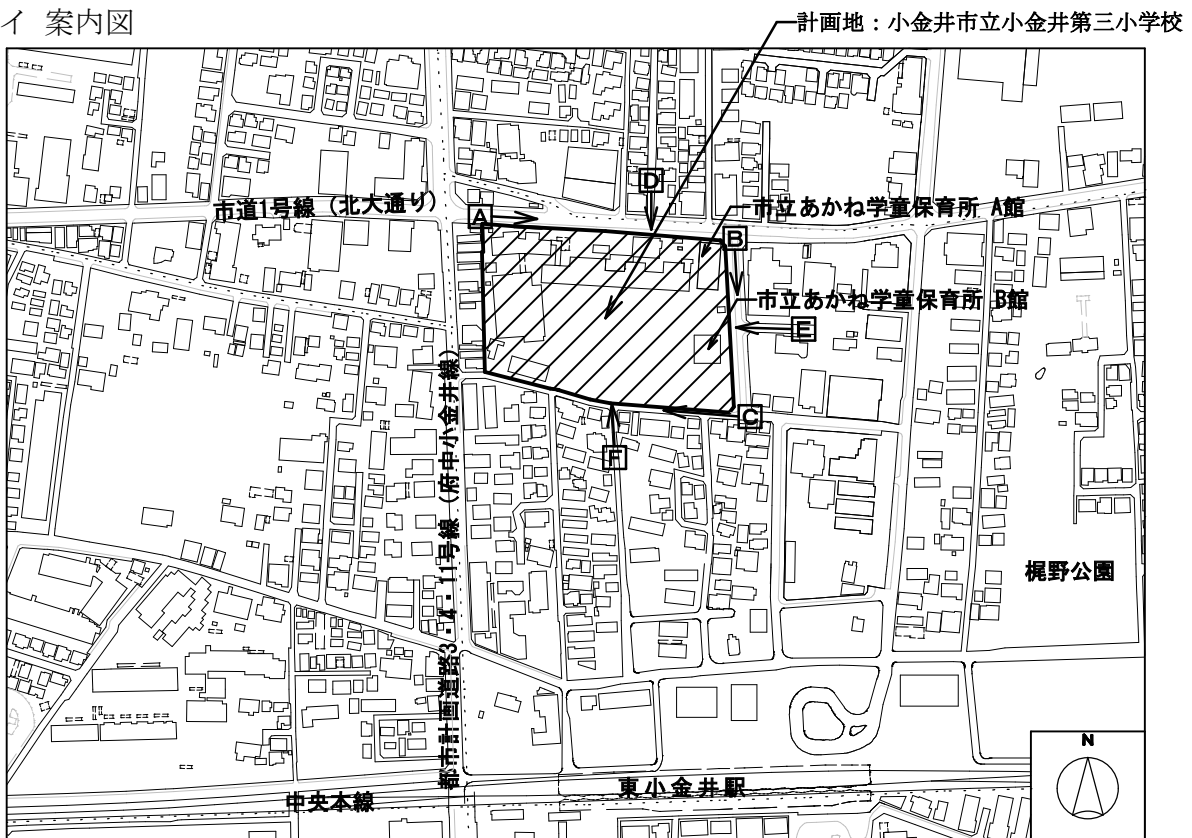
(1) 敷地の概要

ア 地域・地区要件等

項目	内容		
所在地	東京都小金井市梶野町5丁目7番1号		
敷地面積	17,904 m ²		
用途地域	第一種中高層住居専用地域	第一種住居地域	近隣商業地域
建ぺい率	50%	60%	80%
容積率	150%	200%	300%
防火指定	準防火地域		
高度地区	第一種高度地区 建築物の各部分の高さは、隣地境界線までの真北方向の水平距離の0.6倍に5メートルを加えたもの以下とする。 	第二種高度地区 建築物の各部分の高さは、隣地境界線までの真北方向の水平距離8メートル以内で1.25倍に5メートル加えた高さ以下とし、それを超える範囲は0.6倍に15メートルを加えたもの以下とする。 	第三種高度地区 建築物の各部分の高さは、隣地境界線までの真北方向の水平距離8メートル以内で1.25倍に10メートル加えた高さ以下とし、それを超える範囲は0.6倍に20メートルを加えたもの以下とする。 
日影規制	3時間-2時間 測定面4m	4時間-2.5時間 測定面4m	5時間-3時間 測定面4m
前面道路	市道第1号線 幅員12m	市道第155号線 幅員4m	市道第554号線 幅員6.5m
その他	○隣接する公共施設 ・あかね学童保育所A館、B館		

※敷地面積は令和4年度「学校施設台帳」の面積を引用

イ 案内図



凡例 **A** ~ **F**
写真撮影位置

ウ 現況写真



A : 北側道路



B : 東側道路



C : 南側道路



D : 北側門



E : 東側門

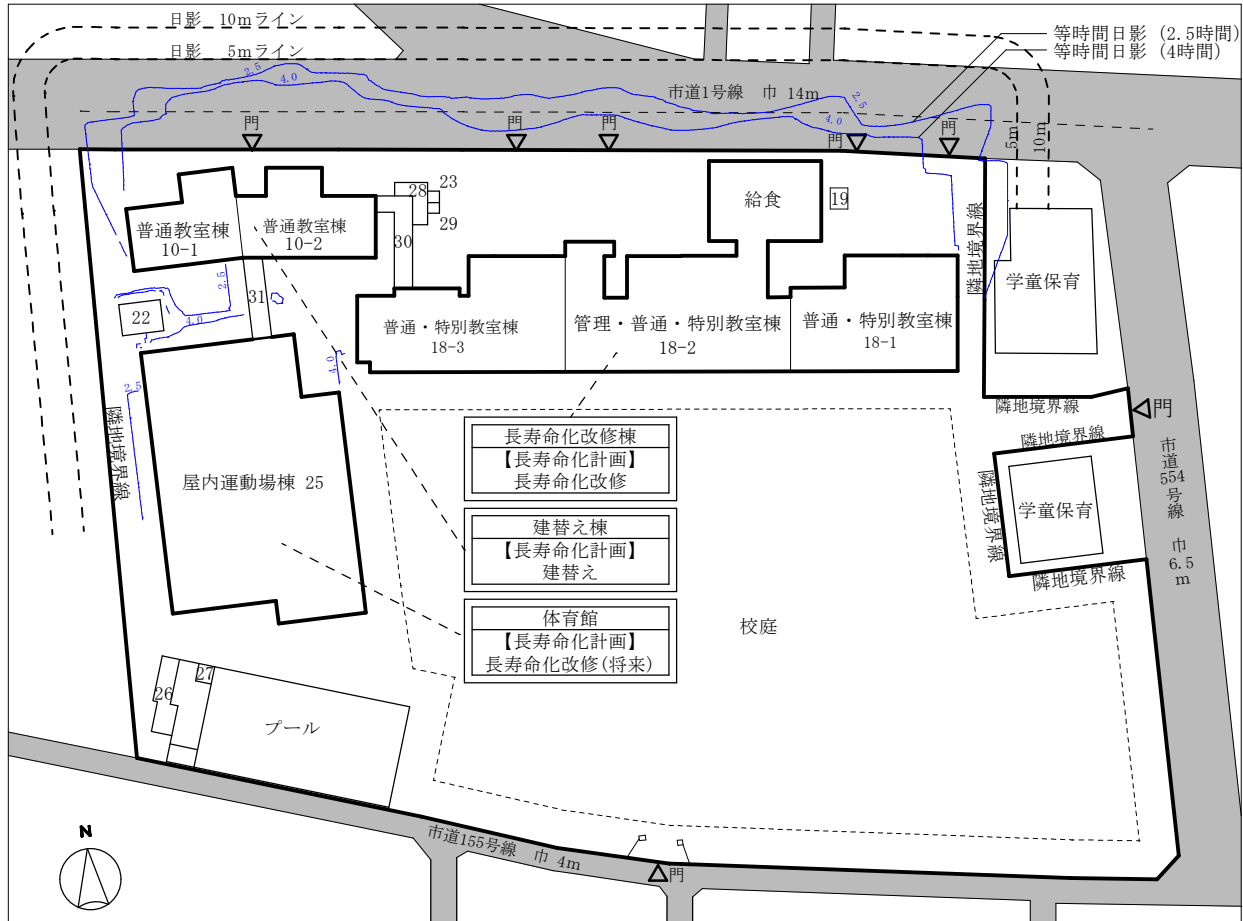


F : 南側門

(2) 既存校舎及び体育館の概要

令和3年3月に策定した長寿命化計画では、第三小学校の既存校舎は築年数や老朽化の状況からみて、一部は建替え、その他の部分は長寿命化改修を行うことにより長期活用していくことが適当と判断しています。また、体育館については、現在の建物を長期活用していくことができると判断しています。

【既存校舎及び体育館の概要】



		棟番号	施設	建築年	構造	階数	コンクリート 圧縮強度	面積	長寿命化計画
既存校舎	建替え棟	10-1	普通教室棟	S 41	RC造	3階	11.7 N/mm ²	606 m ²	建替え
		10-2	普通教室棟	S 42				741 m ²	
	長寿命化改修棟	18-1	普通・特別教室棟	S 50	RC造	4階	16.7 N/mm ²	1,478 m ²	長寿命化改修
		18-2	管理・普通・特別教室棟	S 51				2,008 m ²	
		18-3	普通・特別教室棟	S 53				1,740 m ²	
体育館	25	屋内運動場棟	H1	RC造	2階	—	1,353 m ²	長寿命化改修(将来)	
その他	19	ポンプ室	S 51	RC造	1階	—	11 m ²	—	
	22	楽焼小屋	S 49	B造			33 m ²		
	23	燃料小屋	S 53				5 m ²		
	26	プール専用付属室	H1	RC造			45 m ²		
	27	プール専用付属室	H1				9 m ²		
	28	廊下	H6	S造			27 m ²		
	29	ゴミ集積場	H6	B造			4 m ²		
	30	渡り廊下	S53	RC造			3階		112 m ²
31	渡り廊下	H1	2階		54 m ²				

※棟番号、建築年、面積は令和4年度「学校施設台帳」を引用

※構造凡例 R C造：鉄筋コンクリート造 S造：鉄骨造 B造：ブロック造

(3) 既存校舎の構成諸室

- ア 普通教室 令和4年度現在、普通教室は26室あります。多目的室や少人数教室などを普通教室に転用することで、普通教室を最大29室確保することができます。
- イ 特別教室 音楽室や図工室、理科室、家庭科室、図書室などの一般的な特別教室のほか、視聴覚室や少人数教室、外国語教室、多目的室があります。
- ウ 管理諸室 第三小学校は学級数が多いために教員の人数も多く、第2職員室を設けています。

【既存校舎の構成諸室】

種類	諸室名	建替え棟		長寿命化改修棟		合計 (室数)
		規模 (コマ)	室数	規模 (コマ)	室数	
普通教室	普通教室	1.0	9	1.0	17	26
特別教室	理科室(1)	—	—	1.5	1	1
	理科室(2)	—	—	1.5	1	1
	理科準備室	—	—	1.0	1	1
	音楽室(1)	—	—	2.0	1	1
	音楽室(2)	—	—	1.3	1	1
	音楽準備室	—	—	0.7	1	1
	家庭科室	—	—	1.5	1	1
	家庭科準備室	—	—	0.5	1	1
	図工室	—	—	1.5	1	1
	図工準備室	—	—	1.0	1	1
	作品保管室	—	—	0.5	1	1
	図書室	—	—	1.5	1	1
	図書準備室	—	—	0.5	1	1
	教育相談室	—	—	0.5	1	1
	特別支援教室	1.3	1	—	—	1
	視聴覚室	—	—	1.5	1	1
	少人数教室	1.0	1	—	—	1
	外国語教室	1.3	1	—	—	1
	多目的室	—	—	1.0	1	1
管理諸室	職員室	—	—	1.5	1	1
	第2職員室	—	—	0.5	1	1
	校長室	—	—	0.5	1	1
	事務室	—	—	0.5	1	1
	用務管理室	—	—	0.5	1	1
	保健室	—	—	1.0	1	1
	放送室	—	—	0.5	1	1
	印刷室	—	—	0.5	1	1
	会議室	—	—	0.5	1	1
	職員更衣室	—	—	0.5	1	1
給食室	—	—	3.6	1	1	

(4)児童数・学級数の推計

第三小学校は、現在、児童数・学級数が市立小学校で一番多い大規模校となっています。今後も児童数・学級数は増加する見込みで、学級数は、令和7年度～9年度に現在より3学級多い最大29学級となる見込みです。その後、令和10年度からは減少していく見込みです。

既存校舎で確保できる普通教室は最大29室であることから、今後必要となる普通教室数を既存校舎で確保できる見込みではありますが、多目的に活用できる室が視聴覚室のみとなります。

【児童数・学級数の推計】

年 度	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	最大
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
児童数	877	880	904	907	906	906	909	879	840	909
学級数	26	27	28	29	29	29	28	27	26	29
R4 年度比		+1	+2	+3	+3	+3	+2	+1	+0	+3
既存校舎で普通教室29室まで確保可能										

3 施設整備方針

第三小学校の校舎は、長寿命化計画の改修計画のとおり、建替えと長寿命化改修の併用による効率的な施設整備を実施します。校舎の建替え、長寿命化改修に当たっては、以下の方針を考慮していきます。

(1) 児童等の安全安心の確保

○生命を守り抜く安全・安心な施設の整備

- ・基本的な耐震性能、安全性能を備えた施設とします。
- ・児童の安全管理と防犯機能を備えた施設とします。
- ・防災拠点としての機能を備えた施設とします。

(2) 児童の学習環境・生活環境の充実

○多様な学習・活動を支える施設の整備

- ・1人1台ICT端末環境に対応した多様な学習、活動を展開できる教室スペースを確保します。
- ・少人数や複数学級での学習や活動などの多様な学習形態に対応できる施設とします。

○多様な教育的ニーズのある児童が安全かつ円滑に学校生活を送れる施設の整備

- ・インクルーシブ教育への対応として施設のバリアフリー化を推進します。

○健やかで衛生的な施設の整備

- ・教室は快適な空間になるよう環境を整え、衛生面に配慮したトイレを整備します。

(3) 変化への柔軟な対応

○児童数・学級数の変化に柔軟に対応できる施設の整備

- ・少人数教室や外国語教室等は普通教室に転用しやすい設えとし、学級数の増加に柔軟に対応できる施設とします。
- ・将来児童数が減少した場合、施設の一部を地域利用等に供することを想定し、できるだけ可変性のある施設とします。

(4) 施設の有効活用

○地域との連携・協働の場としての施設の整備

- ・学校運営協議会やPTAなどの活動を支えるスペースを確保します。
- ・地域住民による施設の一部利用を想定した施設構成とします。
- ・障がいの有無、年齢、性別等に関わらず多様な人々が利用しやすい施設となるよう、ユニバーサルデザインを採用します。

(5) 環境にやさしい施設づくり

○環境への負荷の低減に配慮した施設の整備

- ・敷地内の緑化を積極的に行い、みどりに親しむことができるようにします。
- ・建物の断熱化やLED照明の採用等による省エネルギー化を図ります。
- ・太陽光パネルの設置等による再生可能エネルギーの導入を図ります。

○児童や地域の環境教育に資する施設の整備

- ・省エネルギーや再生可能エネルギーの取り組み、効果の可視化を図ります。

4 施設整備計画

(1) 建替え棟と長寿命化改修棟の想定規模

第三小学校の学級数は、今後29学級まで増加する見込みであることから、建替え棟と長寿命化改修棟で普通教室を29室以上確保できるようにします。

また、少人数教室や多目的室等を整備し、多様な学習と活動が展開できる学校施設とします。この少人数教室や多目的室は、普通教室に転用しやすい設えとすることで、宅地開発等により想定以上に学級数が増加した場合に対応できるようにします。

ア 校舎の延べ面積

- 建替え棟 : 約 2,500 m² (既存より約 1,000 m²増床)
- 長寿命化改修棟 : 約 5,300 m² (既存と同じ)

イ 校舎の階数

- 建替え棟 : 地上 4階 (既存は3階)
- 長寿命化改修棟 : 地上 4階 (既存と同じ)

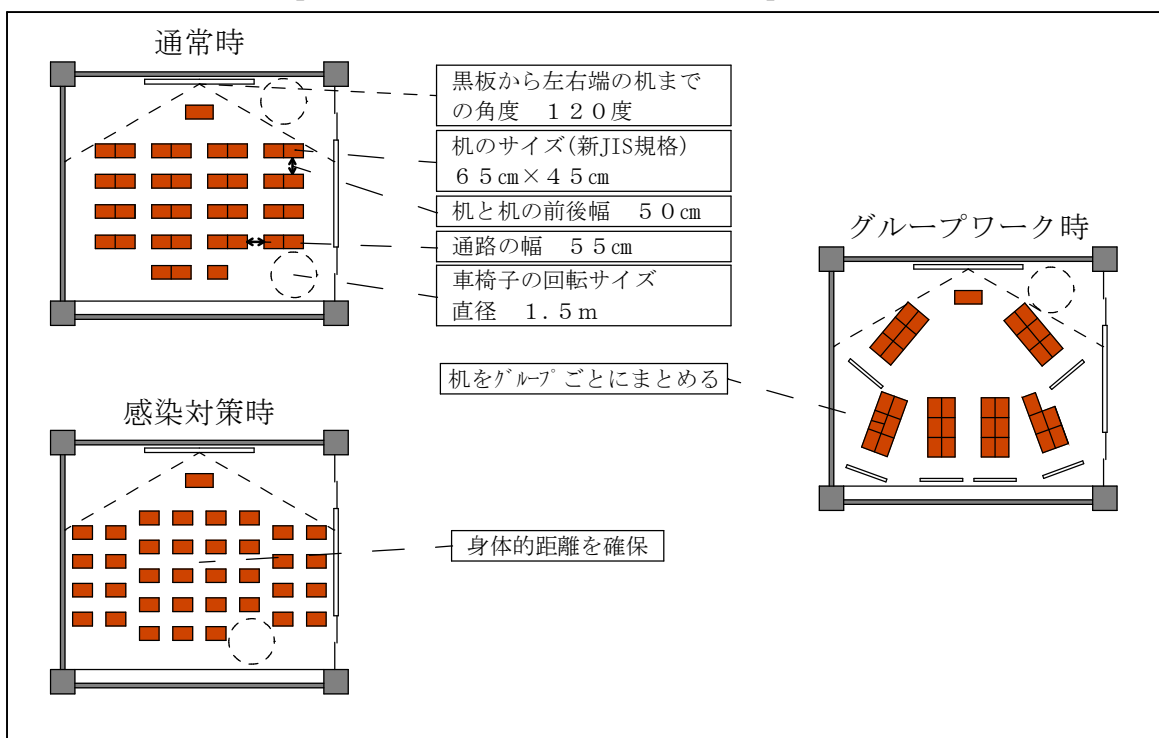
ウ 普通教室の大きさ

○建替え棟

建替え棟の普通教室は、1人1台ICT端末環境に対応した多様な学習・活動が展開しやすい十分な大きさを確保するため、1教室あたりの面積を72m²(9m×8m)とします。

- ・ A4判サイズの教材(教科書、ノート等)やタブレットPCの使用を考慮し、新JIS規格の机(65cm×45cm)の配置を想定します。
- ・ 感染症対策として身体的距離の確保が必要となった場合の机の配置も想定します。
- ・ 車いすで出入りできる教室として、教室の前方と後方で車いすが回転できるスペース(直径1.5m)の確保を想定します。

【普通教室のレイアウトのイメージ】



○長寿命化改修棟

長寿命化改修棟の普通教室は、できるだけ有効に活用できる面積が広がるよう、廊下との一体的な活用などを検討していくこととします。

エ 建替え棟・長寿命化改修棟の構成諸室

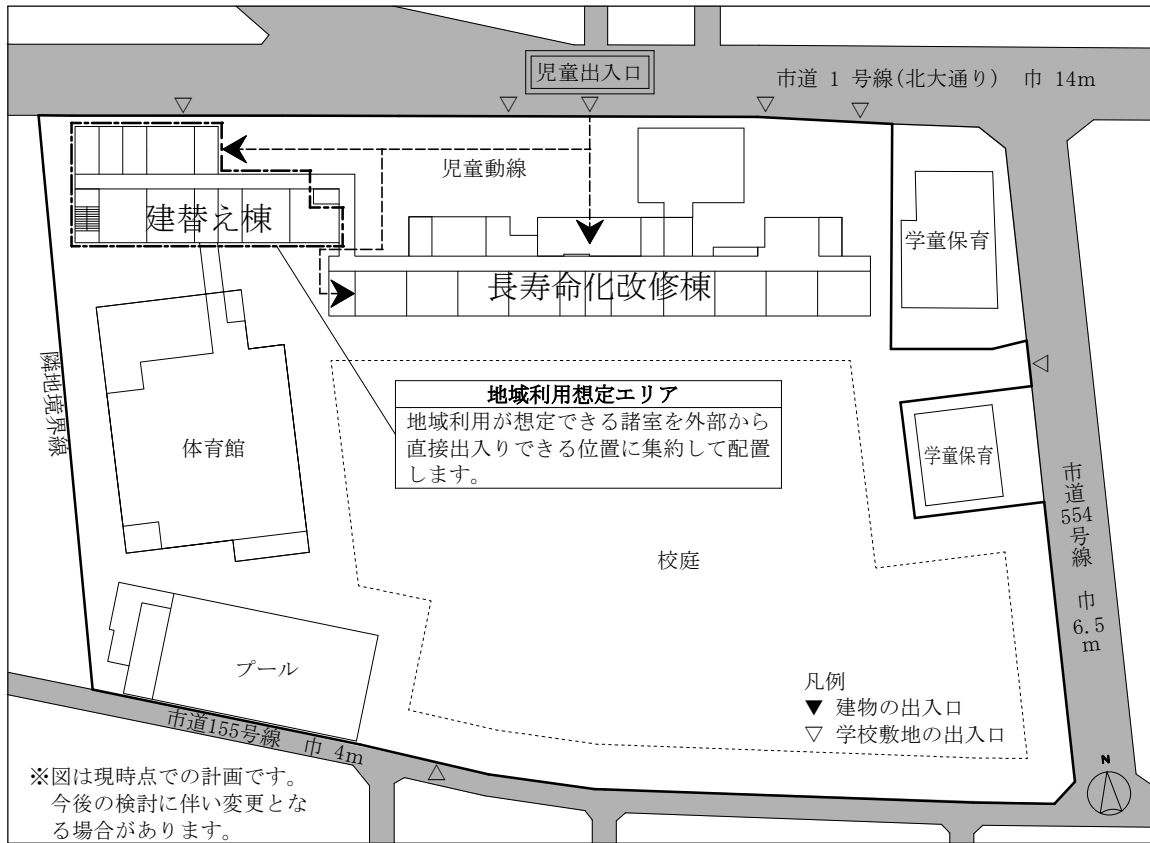
建替え棟は普通教室1室あたりの面積72㎡(9.0m×8.0m)を、長寿命化改修棟は面積64.5㎡(8.6m×7.5m)を計画の基本単位として「コマ」と表し、以下の諸室を整備します。

【建替え棟・長寿命化改修棟の構成諸室】

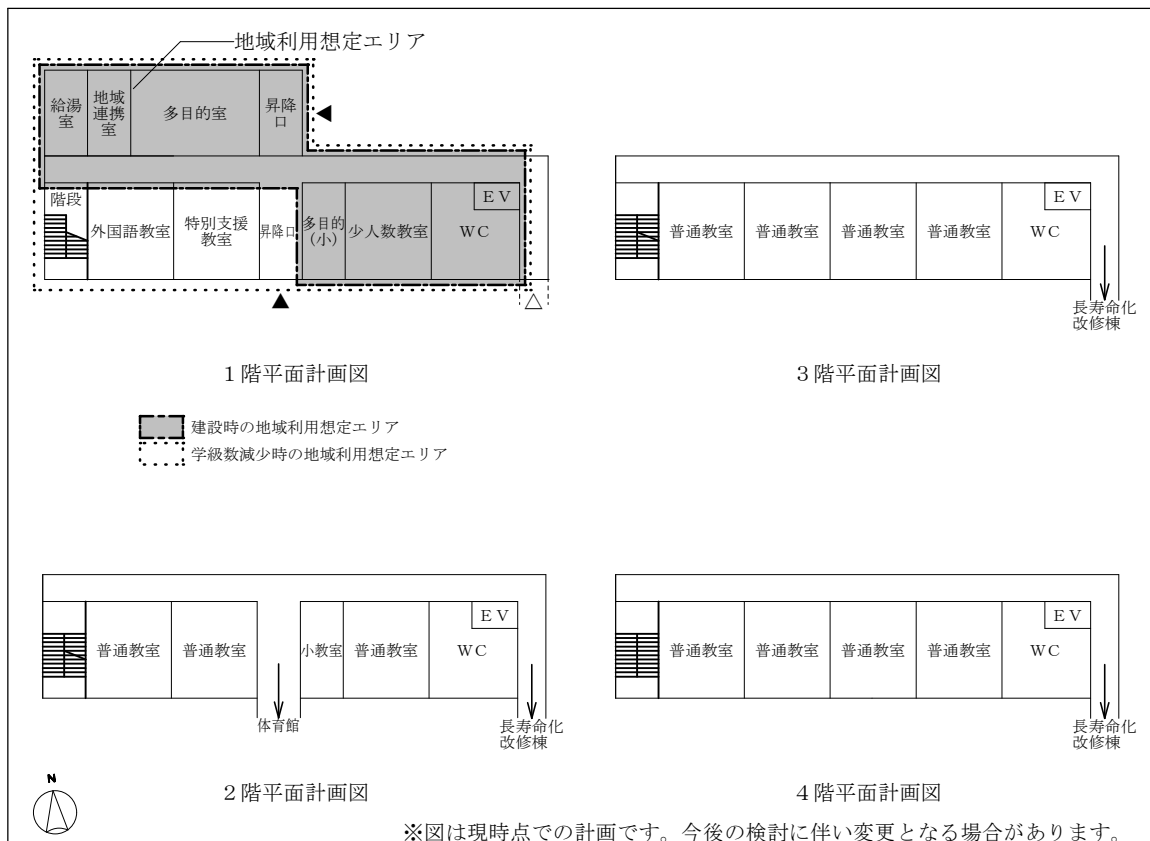
種類	諸室名	建替え棟		長寿命化改修棟		合計 (室数)	備考
		規模 (コマ)	室数	規模 (コマ)	室数		
普通教室	普通教室	1.0	11	1.0	18	29	外国語教室等を普通教室に転用することで最大31室確保可能
特別教室	理科室(1)	—	—	1.5	1	1	
	理科室(2)	—	—	1.5	1	1	
	理科準備室	—	—	1.0	1	1	
	音楽室(1)	—	—	2.0	1	1	
	音楽室(2)	—	—	1.3	1	1	
	音楽準備室	—	—	0.7	1	1	
	家庭科室	—	—	1.5	1	1	
	家庭科準備室	—	—	0.5	1	1	
	図工室	—	—	1.5	1	1	
	図工準備室	—	—	1.0	1	1	
	作品保管室	—	—	0.5	1	1	
	図書室	—	—	1.5	1	1	
	図書準備室	—	—	0.5	1	1	
	教育相談室	—	—	0.5	1	1	
	特別支援教室	1.0	1	—	—	1	
	視聴覚室	—	—	1.5	1	1	
	少人数教室	1.0	1	—	—	1	普通教室に転用できる設えとする。
	外国語教室	1.0	1	—	—	1	普通教室に転用できる設えとする。
多目的室	1.5	1	—	—	1	地域利用を想定した配置とする。	
管理諸室	職員室	—	—	1.5	1	1	
	第2職員室	—	—	0.5	1	1	
	校長室	—	—	0.5	1	1	
	事務室	—	—	0.5	1	1	
	用務管理室	—	—	0.5	1	1	
	保健室	—	—	1.0	1	1	
	放送室	—	—	0.5	1	1	
	印刷室	—	—	0.5	1	1	
	会議室	—	—	0.5	1	1	
	職員更衣室	—	—	0.5	1	1	
	給食室	—	—	3.6	1	1	
その他	地域連携室	0.5	1	—	—	1	P T Aや学校運営協議会などの方々の利用を想定。

(2) 建替え棟の配置計画と平面計画

ア 配置計画図



イ 平面計画図



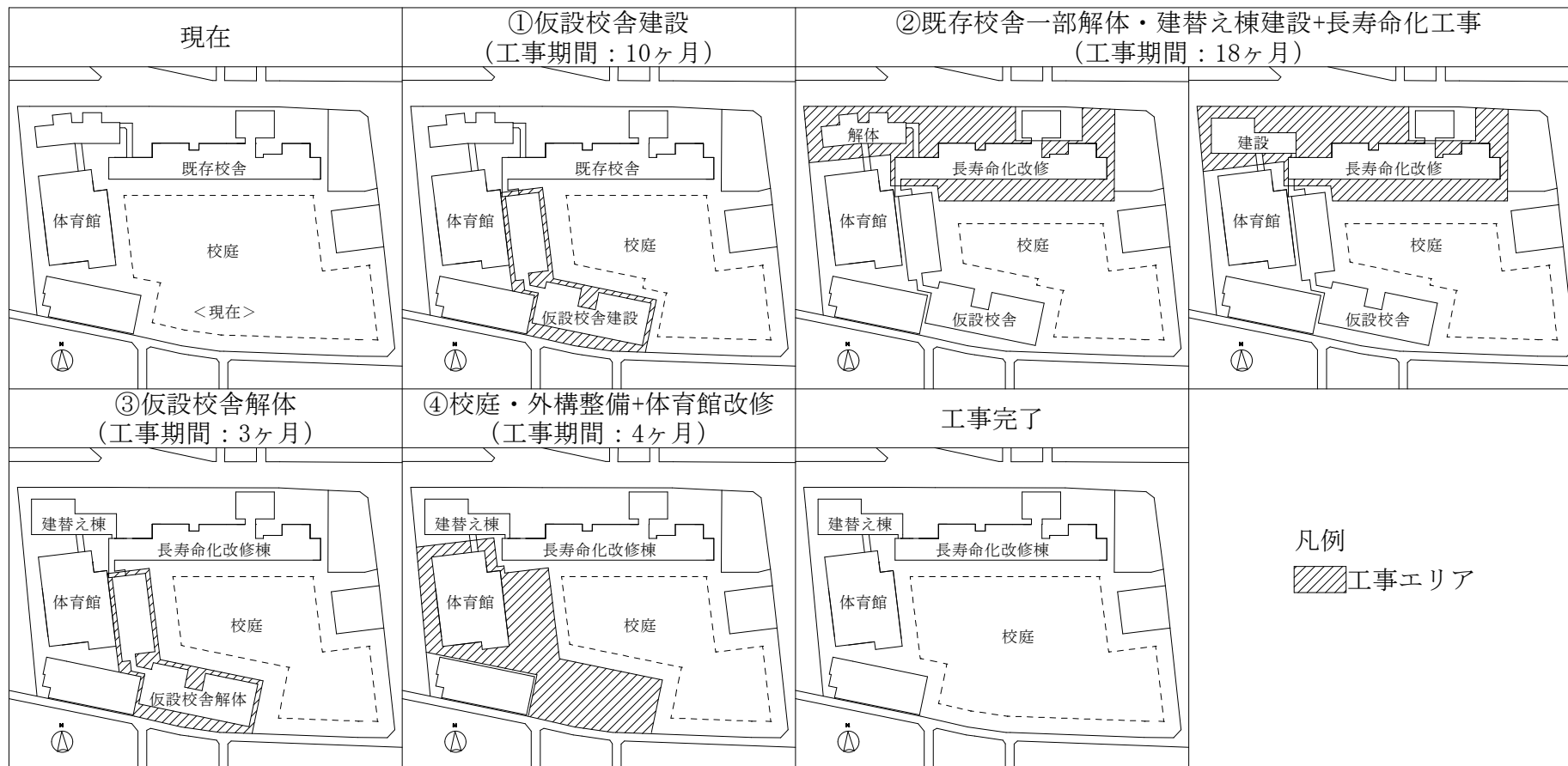
(3) 工事手順と工事期間

第三小学校の校舎建替えと長寿命化改修は、以下のとおり仮設校舎を校庭に設置し、仮設校舎で学校運営を行いながら工事を進めていきます。なお、工事期間中も既存の給食室を活用し続けられるようにします。

<児童数・学級数の増加に対する応急的な増築について>

宅地開発等により今後想定以上に児童数・学級数が増加した場合、校庭の一部に校舎を応急的に増築することも可能です。この場合、当該増築部分は、校舎の建替え及び長寿命化改修を行う際に仮設校舎の一部として使用できるようにします。

【工事手順と工事期間】



※工事手順図及び工事期間は現時点での計画です。今後の検討に伴い変更となる場合があります。

(4) 整備スケジュール

●校舎の一部建替えと長寿命化改修の計画年度の延期

令和3年3月に策定した長寿命化計画では、第三小学校の児童数が今後増加していくことを踏まえて、第三小学校の校舎の一部建替えと長寿命化改修（以下「大規模施設更新」という。）を市立小中学校で最優先に行っていくこととしました。しかしながら、その後の学級編制標準の引き下げの影響により、長寿命化計画策定時の想定より児童数・学級数が増加し、第三小学校よりも教室不足が深刻となる恐れのある小学校が出てきました。

一方で、第三小学校については、これまでの検討にあるとおり、既存校舎で今後必要となる普通教室を確保できる見込みであることや、宅地開発等により今後想定以上に児童数・学級数が増加した場合、校庭の一部に応急的に校舎を増築することも可能であることから、学級数の増加に対しては校舎の大規模施設更新に依らなくても対応することが可能です。

以上の状況を踏まえて、第三小学校の校舎の一部建替えと長寿命化改修は延期し、第三小学校よりも教室不足が深刻となる恐れのある小学校の校舎建替えを優先して早期に行っていくこととします。

第三小学校の校舎の大規模施設更新は、今後も市立小学校における児童数・学級数の動向を注視しながら、適切な時期に実施していくよう、引き続き検討していきます。

5 今後の留意事項

第三小学校の校舎の大規模施設更新については、今後も市立小中学校の児童数・学級数の動向を注視しながら、実施時期を慎重に検討していくとともに、整備内容についてもその時の児童数・学級数や教育環境、社会情勢の動向を反映した計画となるよう留意します。